



や  
ち  
こ  
か  
ん  
活  
力  
あ  
ふ  
れ  
る  
の  
た  
こ  
し  
た  
ー  
・  
ラ  
イ  
フ  
い  
い  
た  
て

## 飯舘村消防団 堂々の優勝!

### 第33回福島県消防操法競技相馬地方大会

7月28日、いいたてスポーツ公園陸上競技場で行われた第33回福島県消防操法競技相馬地方大会ポンプ車操法の部で飯舘村消防団が見事優勝、県大会への出場が決定しました。(関連記事9ページ)

8月1日は「水の日」「水の週間」

## 飯館村簡易水道の

## 水量と水質



国では、8月1日の「水の日」を初日とする1週間を「水の週間」としています。これは限りある水資源の大切さを再認識し、水の貴重さを理解してもらおうと定められたものです。「水」は、飲み水や洗濯、お風呂に

トイレ、工業用水、さらには火事の消火など、私たちが生活していくうえで欠かせないものです。今回は、その中でも私たちと最もかかわりの深い水道水の量と質について特集します。

1日に作られる水の量は最大1706<sup>m</sup>3

村には田尻、花塚、滝下、大倉と4つの浄水場があり、いずれも沢の水を取水し、きれいにしてそれぞれの給水区域に水を供給しています。

4つの浄水場で1日につくることのできる水道水は、最大で1706<sup>m</sup>3です。

これをリットルに換算すると170万リットルとなり、25メートルプール約5・7杯分です。

平成13年度に村で1日に使われた水の量は最大で1280<sup>m</sup>3ですので、まだ十分な余裕があることがわかります。

もし、日照りが続いたときも、田尻浄水場には1万5千トンの水を貯めておける貯水池があり、仮にここから毎日500トンの水を取水したとしても30日間は安定した供

給が可能です。また、滝下浄水場には2つの取水堰があり、日照りに対応できるしくみになっています。

さらに、田尻、花塚、

滝下浄水場は、配水管がつながっていて、どの浄水場からも水を回すことができますようになっていきます。

### 水の量が十分でも日頃からの節水を

水が十分にあっても、日頃からムダに使っていたのではあつという間に水が足りなくなつ

てしまいます。ぜひ、日頃からの節水を心がけましょう。



- 「水道栓の開け閉めはこまめに」しましょう。「水は容器にくんで使用を」しましょう。



- 洗車の時は水を容器にくみましょう。



- 洗濯はためすぎで脱水すぎでしましょう。



## 水質は？

水量が十分でも、肝心の水質はどうでしょうか。もちろん水道法で定められた基準は守られています。

しかし、残念ながら全く問題なしというわけではありません。

村では沢の水を原水としているため、雨が降れば水が濁りますし、葉っぱが腐ったりしたために、沢水に色（茶色、青色）がでます。

この水が塩素滅菌されたときに2次生成物質としてトリハロメタンという物質ができます。この物質は発ガン性があると

言われており、水道法では1リットル中0・1ミリグラム以内と規定されています。さらにその10分の1（0・01ミリグラム）を超えた場合は、年4回の検査監視が義務づけられています。

昨年の水質検査で、村の水道ではこの物質が1リットル中最高0・033ミリグラム（基準値の約3分の1）の値となっていました。このため、村では年4回の定期検査監視を行って、安全な水の供給に努めています。

## 家庭でも水道水をチェック!

今年7月から「飯館村簡易水道親子モニター」が設置されました。これは、安全な水を家庭に供給するために、一般家庭に日常的に水道水の状態の測定をお願いするものです。

今回、モニターには、水道給水区域の中から5

組の親子が委嘱され、「ポータブル残留塩素測定器」という水道水の塩素濃度を調べる機械が貸与されました。

モニターに委嘱された親子は、水道水の塩素濃度や色、にごり、においなど4つの項目で水質の監視を行い、異常時には村に連絡します。任期は2年間です。

## 飯館村簡易水道親子モニター始まる

### 親子モニター

- ◆田尻浄水場系列  
佐藤眞弘さん・慶弘くん（二枚橋）
- ◆滝下浄水場系列  
花井敬三さん・文香さん（伊丹沢）▽長井実さん・織江さん（関沢）
- ▽西川徳さん・あかねさん（宮内）
- ◆花塚浄水場系列  
遠藤利彦さん・翼くん（八和木）

▶水質調査の説明の様子

▼委嘱状交付式の様子



いわたてむら。



おいしい水

もっと水道  
について  
知りたい  
ときは…

村では「飯館村のおいしい水」というパンフレットをつくって水道加入世帯に配布しています。ぜひご家庭でご覧になってください。